

医薬品の知的財産制度をふまえた特許戦略構築と

1名分料金で
2人目無料

知財デュー・デリジェンス/知財価値評価のポイント【LIVE配信】 【アーカイブ配信】

- ◆日時：2025年2月28日(金) 12:30～16:30
【アーカイブ配信:3/3～3/12(何度でも受講可能)】
 - ◆会場：【WEB限定セミナー】※ご自宅や職場でご受講下さい。
 - ◆受講料：1名につき49,500円(税込、資料付)
- ※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。
- ・1名でお申込みされた場合、1名につき**46,200円**
 - ・2名同時にお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で49,500円)**
 - ・ライブ配信視聴、アーカイブ配信視聴いずれも受講料は同じです。

セミナーHP <https://www.rdsc.co.jp/seminar/250259>

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

【講師】※講師のご略歴等の詳細は弊社HPでご確認下さい

東京共同弁理士法人(東京共同会計事務所グループ) パートナー弁理士(東京共同会計事務所 シニアマネージャー兼務) 五十嵐 義弘 氏

【ご専門】・知的財産関係法全般 ・生化学、分子生物学、有機化学、無機化学 ・金融(企業調査、企業・事業価値評価、株式公開(IPO)、エクイティファイナンス)
【ご略歴】1995年東北大学大学院理学研究科修士了後、エーザイ、野村證券、ITX(旧日商岩井・情報産業本部)、TMI総合法律事務所、大手特許事務所に勤務。知的財産領域23年、製薬業界7年、ベンチャー投資および証券業界5年のキャリア全般を通じ、一貫してライフサイエンス/ヘルスケア領域に携わる。1995年にエーザイ入社後、バイオ研究部門にて炎症・免疫系疾患領域の研究に従事、1997年に知的財産部門へ転じ(1999年弁理士)、医薬関連の知財実務と係争案件対応に携わる。以後、大手法律事務所、大手特許事務所、現職と併せ、知的財産領域で20年以上の経験・実績を持つ。2002年にITX(旧日商岩井・情報産業本部)で日米欧ベンチャーの投資育成事業に従事し、2003年からは野村證券で投資銀行業務に従事、ヘルスケアセクターのシニア・アナリスト(企業調査)および法人RM(主にIPO案件のバンカー)として、私募引受案件や、数多くのIPO銘柄の開拓・開発・経営支援・IPOに携わり、国内産業を資本市場から支える。

【講座趣旨 / プログラム】 ※詳細内容は弊社HPでご確認下さい

医薬品産業には、長く知的財産(知財)を格段に重要視してきた歴史がある。一方、最近では、他の産業界においてもようやく、企業価値の源泉が有形資産から無形資産へと移行すべきであると認識されるようになり、知的創造活動により生み出される知財の創出・活用の重要度が一層高まっている。それらは、裏を返せば、医薬品産業が実に特異な産業であることの証左といえよう。本セミナーは、知財(特に特許)の制度、重要性、さらにはその評価の方法と進め方や、そもそもの意義について、医薬品産業の観点から網羅的に習得するセミナーとなっている。前半では、特に特許を中心に、その制度概要と、医薬品産業に特徴的な戦略について解説するとともに、なぜ医薬品産業では知財が格段に重要なのかについて、他の産業界と比較しながら触れたい。さらに、後半では、知財デュー・デリジェンス(Due Diligence/DD)や知財価値評価(バリュエーション)等について触れたい。知財DDは、自社の事業・技術・研究開発に関する戦略策定や、事業投資・譲渡等の検討における重要なステップである。また、企業・事業価値の評価の際には、知財価値評価も案件の成否に影響を与える重要なステップになり得る。一方で、それらのプロセスについては、手法(How to系)に関する解説が、あくまで知財という狭い視点からある程度提供されるようになっただけで、経営・事業戦略の観点からその勘所や意義を俯瞰したような解説は無いに等しい。本セミナーでは、そのような経営・事業戦略の視点からも両者を解説したい。全体を通じて、基礎知識の修得だけでなく、知識や戦略思考のブラッシュアップにも役立ち得る時間にした。初学者はもちろん、知財に関する知識をお持ちの方にもおすすめできるセミナーである。

- | | | |
|--|--|---|
| <p>1. 知的財産の役割に関する基礎知識</p> <p>1.1 経営の全体的視点から知財戦略を考える
～なぜ事業戦略と技術戦略が知財戦略よりも上位階層にあるのか、知財戦略とは何か、なぜ経営に必要なのか</p> <p>2. 医薬品産業に携わる上で必要な知財制度の基礎知識</p> <p>2.1 知的財産制度の種類</p> <p>2.2 各知的財産権の特徴・相違・重要性</p> <p>2.3 特許制度の基礎知識 ～ 特許権の誕生から消滅まで</p> <p>2.4 特許権になり得る発明について</p> <p>2.5 属地主義(外国の特許制度)について</p> <p>3. 医薬品産業に特有の特許戦略について知っておくべき基礎知識</p> <p>3.1 ビジネスモデルと特許戦略の関係
～他産業との比較から、なぜ医薬品産業では特許の重要度が格段に高いとされるのか</p> | <p>3.2 特許権の存続期間延長制度について</p> <p>3.3 特許戦略による製品のライフサイクルマネジメント</p> <p>4. 特許権の権利範囲に関する基礎知識</p> <p>4.1 明細書の読み方と、権利範囲の把握の仕方</p> <p>4.2 医薬品関連の特許はなぜ強力なのか</p> <p>5. オープンイノベーションと知財の関係について知っておくべき基礎知識</p> <p>5.1 医薬品産業にはオープンイノベーションの長い歴史がある</p> <p>5.2 どうすればエコシステム内に自社の影響力を残すことができるか</p> <p>6. 知財デュー・デリジェンスの基礎知識</p> <p>6.1 なぜ知財デュー・デリジェンスは重要なのか</p> <p>6.2 知財デュー・デリジェンスで確認すること、その進め方の概要について</p> | <p>6.3 目的(何が評価したい対象なのか)を誤るとデュー・デリジェンスが機能しなくなる</p> <p>7. 知財価値評価の基礎知識</p> <p>7.1 価値評価における「価値」は本質的には「将来価値」を指している</p> <p>7.2 価値評価に必要なファイナンスの基礎知識 - NPV</p> <p>7.3 価値評価に必要なファイナンスの基礎知識 - リスク</p> <p>7.4 価値評価に必要なファイナンスの基礎知識 - 企業(事業)価値</p> <p>7.5 知財の価値評価における問題・難点</p> <p>7.6 知財に担保価値は本当にあるのか</p> <p>7.7 知財の価値評価はなぜ活発にならないのか</p> <p>8. まとめ ～ 勘案したいこと</p> |
|--|--|---|

【質疑応答】

本セミナーは「Zoom」を使ったWEB配信セミナーとなります。Zoomを使ったWEB配信セミナー受講の手順

- 1) Zoomを使用されたことがない方は、こちら(https://zoom.us/download#client_4meeting)からミーティング用Zoomクライアントをダウンロードしてください。ブラウザ版でも受講可能です。
 - 2) セミナー前日までに必ず動作確認をお願いします。はじめかたについてはこちら(<https://www.rdsc.co.jp/files/instruction/zoom.pdf>)をご覧ください。
 - 3) 開催日直前にWEBセミナーへの招待メールをお送りいたします。セミナー開始10分前までにメールに記載されている視聴用URLよりご参加ください。
- ・セミナー資料は開催前日までに送付いたします。無断転載、二次利用や講義の録音、録画などの行為を固く禁じます。

『医薬品特許』セミナー申込書 ※ご希望の参加形式にチェックを入れて下さい⇒ LIVE アーカイブ

会社・大学	
住所	〒
電話番号	FAX

●Webセミナーの受講申し込みについて●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。上記のLIVEかアーカイブにチェックを入れて下さい。弊社から受付完了のご連絡をいたしまして請求書をお送りいたします。セミナーお申込み後、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席下さい。代理の方も見つからない場合、営業日(土日祝日を除く)で8日前まででしたらキャンセルをお受けします。

受講料の支払いに関してはHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>
個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>

お名前	所属	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。 Eメール 郵送



株式会社R & D支援センター

〒135-0016 東京都江東区東陽3-23-24 VORT東陽町ビル 7F
TEL) 03-5857-4811 FAX) 03-5857-4812 URL) <http://www.rdsc.co.jp/>